

第2章 保存・活用の基本理念と目標

第1節 保存・活用の基本理念

地域における歴史文化を生かしたまちづくりの理念として、

○地域のアイデンティティ※の確保及びその絆の維持

○人々の生活の中での文化財の保存及びその根底にある知と技の継承

があげられている（「文化財の保護とまちづくり」文化庁文化財部）。

こうした点に加え、津和野町の文化財の状況や特色・価値、住民の文化財に対する意識などを踏まえながら、文化財の保存・活用の基本理念を設定する。

＜津和野町における文化財の保存・活用の基本理念＞

**“野・山・街”と共存する津和野の歴史文化を、
地域で引き継ぎ、生かす**

津和野町の文化財の基盤や背景となるものとして、日本を代表する清流高津川の恵みを受けながら、人々が培ってきた農村文化、源流域の山々や自然を生かした産業や天領としての歴史、数々の街道や舟運による交易・交流、城や城下町の形成と営み、そして日本近代国家創生に関わる人物の輩出等々があげられる。

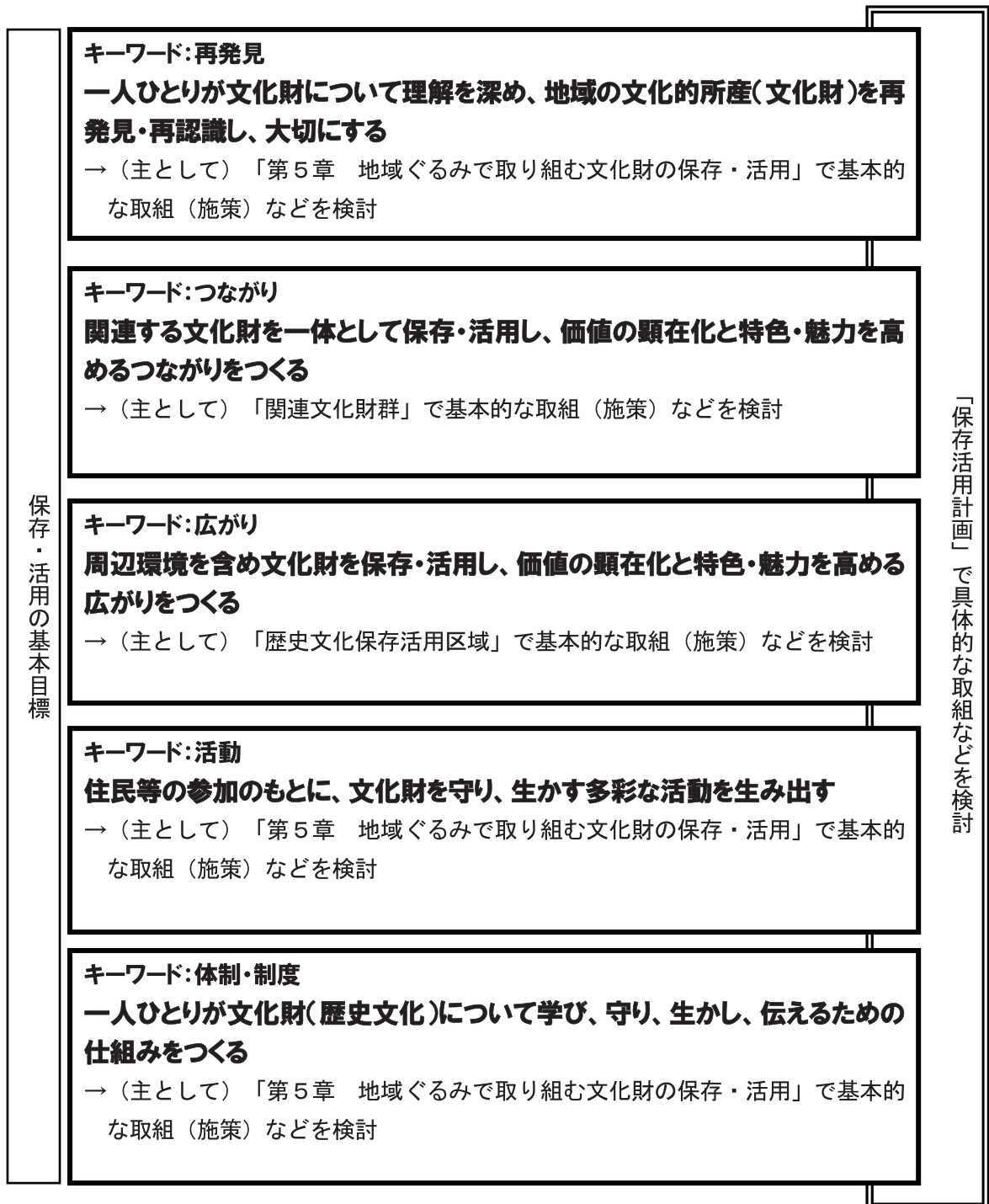
これらは、前述の「津和野町の歴史文化の特色と価値」で示した“野”、“山”、“街”と重なり合うとともに、自然や風土に耐え、生かしながら、歴史文化を培ってきた先人の努力と知恵によるものであり、開明の精神で文化・文明を先進的に取り入れ、地域をつくり、育んできた足跡（遺産）である。

こうした背景を踏まえ、このコンセプト（基本理念）の意味するところは、先人達が“野・山・街”に暮らし、生み出し、育んできた歴史文化を、私たち一人ひとりが心に刻み、引き継ぎ、生かしながら、津和野ならではの心豊かで活力と魅力に満ちたまちを築いていくことにある。

※ アイデンティティ
独自性、自己認識。

第2節 保存・活用の基本目標

保存・活用の基本理念を具体化する取組を方向づけるための基本目標を、歴史文化基本構想の役割などを踏まえて設定する。



＜基本理念と目標の設定＞

＜地域における歴史文化を生かしたまちづくりの理念＞

○地域のアイデンティティの確保及びその絆の維持

○人々の生活の中での文化財の保存及びその根底にある知と技の継承

津和野町の文化財の状況

住民の文化財に対する意識

津和野町の歴史文化の特色と価値

津和野町の文化財に関する問題点・留意点

津和野町の文化財の保存・活用の課題

津和野町のまちづくり（文化財に関わる方針、施策など）

- 第1次津和野町総合振興計画
- 都市計画マスタープラン
- 津和野町景観計画
- 法適用、津和野町環境保全条例 など

社会的状況・時代の流れ

- 少子高齢化、人口減少社会（中山間地域などは過疎化）
- 余暇時間の増大とライフスタイルの多様化→成熟社会
- 地方分権と地域協働 など

文化財を総体として捉えて新たな価値を付加

- 周辺環境も合わせて保護

社会全体で文化財を保護するための方策

- 文化財の価値を魅力的な形で分かりやすく提示

＜津和野町における文化財の保存・活用の基本理念＞

**“野・山・街”と共存する津和野の歴史文化を、
地域で引き継ぎ、生かす**

＜津和野町における文化財の保存・活用の基本目標＞

- 一人ひとりが文化財について理解を深め、地域の文化的所産（文化財）を再発見・再認識し、大切にする
- 関連する文化財を一体として保存・活用し、価値の顕在化と特色・魅力を高めるつながりをつくる
- 周辺環境を含め文化財を保存・活用し、価値の顕在化と特色・魅力を高める広がりをつくる
- 住民等の参加のもとに、文化財を守り、生かす多彩な活動を生み出す
- 一人ひとりが文化財（歴史文化）について学び、守り、生かし、伝えるための仕組みをつくる